

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 30日

宮崎市長 清山 知憲
殿



提出者

住 所 宮崎市大字瓜生野2390番地
氏 名 有限会社 井上産業
代表取締役 井上 康典
電話番号 0985-41-0180

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社 井上産業
事業場の所在地	宮崎市大字瓜生野2390番地
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	元請工事完成高(前年度実績) 35,754,000円
③ 従業員数	16名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	金属くず→中間処理委託(破碎)→再資源化 廃プラスチック類→最終処分(埋立) ガラスくず・コンクリートくず・ガラス陶磁器くず→最終処分(埋立) がれき類→最終処分(埋立) がれき類→中間処理(破碎)→再資源化(再生碎石) 木くず→中間処理(破碎・焼却) 紙くず→中間処理(焼却) 繊維くず→中間処理委託(破碎) 廃石膏ボード→最終処分委託(管理型) 繊維くず→中間処理委託(破碎)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
代表取締役 ↓ 廃棄物担当 ↓ 現場代理人		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度 (令和4年度) 実績】	別紙の通り
	産業廃棄物の種類	
	排出量	t
	(これまでに実施した取組) 施工時、分別・仕分けの徹底 がれき類は、中間処理(破碎)で再資源化を行う 繊維くずは、中間処理委託をし、再資源化を行う	
② 計画	【目標】	別紙の通り
	産業廃棄物の種類	
	排出量	t
	(今後実施する予定の取組) 施工時の分別・仕分けの徹底 前年同様、木くず・がれき類・繊維くずは委託するなどして再資源化を図る	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類：がれき類・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・ 廃プラスチック類・木くず・紙くず・繊維くず・鉄くず 取組：コンテナ・袋を配置し分別を行う	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類：前年同様 取組：コンテナ・袋を設置し分別を行う	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 木くずは、中間処理（破砕）後、敷料とし再利用を行った。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) がれき類の再生利用・販売を行う。 木くずは、中間処理委託を行い、再利用する。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
② 計画	【目標】別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 分別・仕分けの徹底		
② 計画	【目標】別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 分別・仕分けの徹底		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 分別・仕分けの徹底 再利用できるものは、業者へ処分を委託し、出来る限り再資源化に努めた		

② 計画	【目標】 別紙の通り	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t
	再生利用業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組)	
施工時の分別・仕分けの徹底 前年同様、再利用できるものは、業者へ委託し、出来る限りの 再資源化を図る		
※事務処理欄		

産業廃棄物処理計画書 集計表

(別紙)

単位：t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		産業廃棄物の種類	木毛板	石綿含有建材					合計
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状 (4年度実績)	排出量		10.050	4.320					14.370
②計画 (5年度目標)	排出量		1	1					2
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状 (4年度実績)	自ら再生利用を行った量								0
②計画 (5年度目標)	自ら再生利用を行う量								0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状 (4年度実績)	自ら熱回収を行った量								0
	自ら中間処理により減量した量								0
②計画 (5年度目標)	自ら熱回収を行う量								0
	自ら中間処理により減量する量								0
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投棄処分に関する事項									
①現状 (4年度実績)	自ら埋立処分を行った量			4.320					4.320
②計画 (5年度目標)	自ら埋立処分を行う量			1					1
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状 (4年度実績)	全処理委託量		10.050						10.050
	内訳	優良認定処理業者へ処理を委託した量	10.050						10.050
		再生利用業者へ処理を委託した量							0.000
		認定熱回収業者へ処理を委託した量							0
		認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量							0
②計画 (5年度目標)	全処理委託量		1						1
	内訳	優良認定処理業者へ処理を委託する量							0
		再生利用業者へ処理を委託する量							0
		認定熱回収業者へ処理を委託する量							0
		認定以外の熱回収業者へ処理を委託する量							0